

第 84 回 フォーラム 21 例会 報告

■日時：2021 年 3 月 18 日（木）18：00～19：00

■会場：Zoom

■講演：「ライブオフィス「worXlab」（ワークスラボ）のバーチャル見学」

■講師：パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社

空間ソリューション事業推進室 主幹 筒井 亨 氏

■内容

「worXlab」（ワークスラボ）は、ニューノーマル時代のワークプレイス創造に向け「『働く』を実験する」をテーマとし、パナソニック東京汐留ビル開設されたライブオフィス。Zoom 画面を通して、現地をバーチャルで見学した。

worXlab の URL： https://www2.panasonic.biz/ls/solution/office/live_office/

- ・ 2020 年 12 月からライブオフィスを運用開始。
- ・ 2019 年の TENNOZ Rim から、同様の取組みを開始。 <https://www.tennoz-rim.tokyo/>
- ・ 汐留ビルの 16 階を「働くを実験する」場にした。自らが体験するとともに、パートナや来訪者にも体験してもらう。
- ・ オフィスに出勤する意義を「交流の場」と考える。座席数も出勤率 50%を想定し減らした。
- ・ ビル竣工当時は換気量 20m³であったが、さらに人数に応じての最適換気を実施。ダウンフロー気流で感染リスクを低減。湿度重視空調と次亜塩素酸による空気清浄も追加。WELL Health-Safety Rating を取得。
- ・ 照明は既存のシステム天井のラインを残しながら改修。C 工事でテナント工事する場合に、原状復旧を容易とするため。照明はすべて無線調光システムで制御し、サーカディアンリズム制御や Feu を活用した設計も実施。
- ・ 従来のオフィスと比較したコストや省エネ性能の差は、照明を必要箇所のみ点灯することで 30%に削減。しかし換気や気流が増えた分は 10%程度増エネ。照明の削減分が空調に少し効くと思う。
- ・ モニタを全席に置くことで資料をモニタ画面で見ることを徹底し、ペーパーレスを実現。
- ・ 全員フリーアドレスで、個人ロッカーは 1 個のみ。ファイルケース 4 つぐらいしか入らない。
- ・ オフィスに人が来るとビーコンでトラッキングし、人が集まる場所の CO₂ を拡散する。
- ・ 会議室での Web 会議の音漏れが課題であり、指向性スピーカで会議エリアだけで聞こえるようにし、さらにマスクングのためのスピーカも設置。スピーカから 1m ぐらい離れると聞こえない。

(感想)

- ・ Zoom 画面上での見学はフォーラム例会では初の取り組みであったが、場の雰囲気は十分に感じられた。今度も見学や交流の手段として、有効活用していきたい。

以 上

報告者 小林 浩（株式会社トーエネック）